



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2005年(平成17年)10月31日

第42号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel (6848)1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティア活動推進センター ぷらっと3周年！

平成14(2002)年7月9日にオープンしましたボランティア活動推進センター「ぷらっと」も、今年で4年目を迎えました。

豊中市社協で活動しておられるボランティアの方にはもちろんのこと、ボランティアについて知りたい・利用したいとお思いの市民の方々にも、ご利用頂いています。

また、夏休み中には、ボランティアについて勉強したい、ボランティア活動を始めたい、という学生さんも多く訪ねて来られました。「ぷらっと」の存在が、だんだんと浸透してきているようで、嬉しく感じています。

いつも「ぷらっと」をご利用の皆様、これからもよろしくお願い致します。

「ぷらっと」にまだ来たことが無いという方も、お気軽にどんどんいらして下さいね！



これからも、ますます多くの方にご利用していただく為に、より親しみやすく、充実した情報を提供できるようにしていきたいです。

■利用時間

月曜日～金曜日の
10時～17時15分
(休日は土・日・祝日
および年末年始)

■所在地

豊中市中桜塚 2-19-2

■電話番号(FAX 同)

06-6848-1000

「ぷらっと」では、 こんなことをしています



☆ボランティア関連図書・ビデオ等の貸し出し
ボランティアや地域活動、福祉に関する図書やビデオなどの貸し出しをしています。

☆ボランティア・地域活動に関する情報提供
ボランティアや地域活動、福祉に関する情報が多く、自由にご覧いただけます。



●ご利用状況●

平成17年 4月～9月まで

来客数	972 名
ボランティア登録数	24 名

ボランティアについての情報
をお探しの時は・・・

☆ボランティアに関する相談の窓口
ボランティアの派遣や活動上の悩みなど、ボランティアに関する相談に応じています。

ボランティアをされている方のお話を聞いてみたい時は・・・

ボランティアグループで活動を始められた時は・・・

☆ボランティア始めま専科などミニ講座の開催
ボランティアを始めたい人のために、市内のボランティアグループの協力により、ボランティアミニ講座を随時開催しています。(P8の今後の予定を参照下さい。)

また、市内のボランティアグループが交替で当番をしていますので、ボランティア活動中の方に活動に関する相談やアドバイスをしてもらうこともできます。



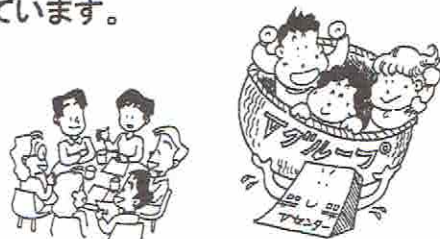
ボランティアについてのご説明や、希望にあうような活動・グループなどをご紹介します。
また、市社協へのボランティア登録も受付ています。



ボランティア活動を始めたい時は・・・

ボランティアを派遣して欲しい時は・・・

☆ボランティアグループ活動の支援
市内のボランティアグループで結成している「豊中市社協ボランティア団体連絡会」の各加盟団体は、「ぷらっと」の運営に協力し、活動の拠点、情報発信の場として「ぷらっと」を活用しています。



短期間の留守番、話し相手、通院介助、買い物・産後の子育てなどでお困りの方に対して、ボランティア派遣の相談に応じています。



NEWS

福祉なんでも相談窓口とコミュニティソーシャルワーカー事業がスタートしました。

豊中市地域福祉計画の重点プロジェクトの1つとして市内12校区で福祉なんでも相談窓口の設置とそれをバックアップしていくコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が社協に4名配置されました。CSWは、相談を通じて、行政と地域のつなぎ役として、また制度で対応できない様々な課題を福祉のまちづくりに提案していく役割があります。

● 相談のフロー図



相談者

本人・地域住民・民生委員など
関係機関職員
行政担当課・保育所・施設など
福祉なんでも相談窓口

いきいきネット相談支援センター

相談

調整

CSW

大阪府の定めるCSW
養成講座を修了しています

問題解決

公民による支援のコーディネート
行政制度でサポート
ボランティアによる支援
校区活動による支援
困難事例についてはケース検討会



① ブロック	C SW配置拠点	いきいきネット相談支援センター上野
	場 所	堀田老人憩の家 3階事務室 (上野校区福祉なんでも相談窓口)
	電 話&FAX	6848-2008
	相 談 時 間	毎週木曜日 10時~12時 第2・4水曜日 10時~11時30分 第3土曜日 13時30分~16時
	福祉なんでも相談 窓口実施校区	上野・桜井谷(桜井谷・桜井谷東)・東豊台
② ブロック	C SW配置拠点	いきいきネット相談支援センター本部
	場 所	ボランティア活動推進センター ぷらっと 内に併設
	電 話&FAX	6848-1279
	相 談 時 間	月曜日~金曜日 10時~17時15分 ※祝日・年末年始は休み
	福祉なんでも相談 窓口実施校区	桜塚・克明・上新田(新田・新田南)
③ ブロック	C SW配置拠点	いきいきネット相談支援センター原田
	場 所	遊友(原田校区福祉なんでも相談窓口)
	電 話&FAX	6852-4581
	相 談 時 間	第1・3水曜日 13時30分~15時30分 第2・4火曜日 10時~12時
	福祉なんでも相談 窓口実施校区	原田・豊島・北条・小曽根
④ ブロック	C SW配置拠点	いきいきネット相談支援センター庄内南
	場 所	庄内南コミュニティルーム (庄内南校区福祉なんでも相談窓口)
	電 話&FAX	6331-8833
	相 談 時 間	毎週月曜日 10時~12時
	福祉なんでも相談 窓口実施校区	庄内南・高川



いきいきネット相談支援センター本部

いきいき つ な ぐ

6848-1279

※①③④については、基本的に福祉なんでも相談窓口開設日のみ対応。
それ以外の日②のいきいきネット相談支援センター本部で受付し、
担当CSWにつなぎます。(土曜・日曜・祝日・年末年始は除く)

『ちょボラサロン「えがお」』

精神障害者がボランティア活動を実践していく場としてスタートした『ちょボラサロン「えがお」』では、年賀状作り、スマトラ沖地震募金、ボランティアフェスティバルでのコーラス出演、プリペードカードの整理と活動の場を広げてきました。「敬老の日」のある9月は、「施設訪問しよう」とアイデアを出しあい、準備をかさねました。そして、9月26日桜塚校区ミニデイを訪問しました。

ドキドキする胸を静め、手話コーラスで“幸せなら手をたたこう”を全員で披露。手品の後は、手作りのカツラ、キラキラ光る衣裳で真ん中でサンバのリズムにのって踊る「えがお」のマツケン四人。紅白のリボンが華やかな棒を手にバックダンサーもリズムにのり一段とあざやかなステップ。お年寄りも楽器を手に一緒にリズムに合わせて身体を動かし、楽しい笑い声のあがるひとときでした。これからの活動の輪を広げる第一歩でした。



みんなで手話コーラス



お年寄りも一緒になって、楽しく「マツケン」ダンス

ボランティアは今

市社協登録ボランティアグループ「小さな手」

濱田 豊明 さん

『「小さな手」に入会して』



私ごとで恐縮ですが、昨年妻が他界しましてミシンや洋裁の道具を残しておりましたので、捨てるに忍びずミシン会社の社長さんに相談しました。この際新しいミシンを買うことにして、取扱い方法の基礎を教えてもらいました。次はミシンで何かを縫ってみたい、と社長に申しますと「小さな手」のリーダーの方が親切に教えて下さるから紹介してあげますと言って下さり、「小さな手」に入会することが出来ました。会員の中にミシンのプロで90才代のベテランの男子の M 様が居られ、この方を頼りに今日まで約十ヶ月、介護用品の製作に携わって参りました。ミシンの懸け方もまだまだ序の口ですが、M 様の技術の何割かでも修得出来たらよいと考えております。尚、会員の皆様が先生を含めて非常に明るい雰囲気、和気藹々で作業をしておられ、また私にも皆様が気づいた時点で正しい縫い方を教えて下さるので、感謝しております。会の戦力に一日も早くなれるよう頑張っている今日この頃です。

ボランティアスクール入門講座

今年も6月10日～24日の金曜日に福祉会館と「ぷらっと」でボランティア活動に興味のある方や、これから始めたいという方を対象に3回講座で実施しました。一日目は吉田 芳子さん(市社協ボランティア活動推進委員長)を講師に「ボランティアはじめませんか」というテーマでボランティア活動の歴史的な経過と現在の役割についてお話いただきました。二日目は市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」「ステッキ」に協力いただき車椅子・アイマスク・インスタントシニア体験を行いました。最終日は実際にボランティア活動をされている「豊中アッシー」の藤田 賢一さん、「小さな手」の山口 三恵子さん、豊島地区社会福祉協議会の山田 眞知子さんからボランティア体験談をお話いただきました。

参加者からは「この講座を受講し、いろいろなボランティア活動があることがわかりました。これからは自分のできることから少しずつ取り組んでいきたいです」といった感想が寄せられました。



延べ55名の方が、
アイマスク体験(左)
講演会(右)
など参加されました。

親子ボランティア講座

夏休み、小学生とその保護者を対象に、「親子でボランティア」をテーマで、親子で一緒にボランティア活動に取り組み、楽しみながら新しい発見をすることを目的に開催しています。

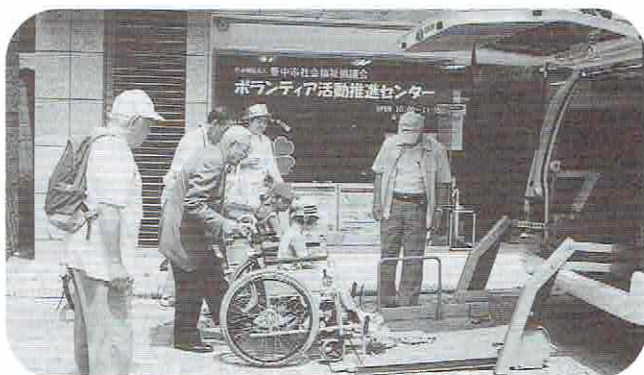
今年は7月25日(月)に開催。親子でボランティアについて学んだ後、「車いす体験(1組)」「点字・アイマスク体験(3組)」に分かれて体験を行いました。

「車いす体験」はリフト付き自動車「ユウあい号」で阪急豊中駅へ行き、福祉の店「なかま」を見学。「点字・アイマスク体験」は点字を打ったり、アイマスクをして岡町商店街を歩いてみました。

参加者から「点字もアイマスクも初めての体験でしたが、親子ともとても興味深く参加することができました。街中で目の不自由な方を見かけた時は、今までよりいっけは勇氣を持って声かけができそうです。」などの意見が寄せられました。また、ボランティアの和氣 一也さんは「夏休みを利用し親子でボランティア活動に関心を持ってもらうのは素晴らしいことです。ただ、参加者が少なく、車いす体験希望の親子が1組だったのが残念です。」参加者からは好評なだけに、今後はPR方法や開催日時などを見直し、多くの親子に参加してもらえようにしたいものです。



初めてのアイマスク体験



車いす体験で「ユウあい号」へ試乗

夏休みボランティア体験

サマーボランティアスクール

夏休みを利用し「ボランティア活動を始めたい、体験してみたい」という方を対象に7月16日(土)市立福祉会館でサマーボランティアスクールを開催しました。はじめに市社協職員より、ボランティアの役割や心構えについて簡単なゲームを交えながら参加者と一緒に考えました。その後、グループに別れ体験学習を行い、最後に保育所や障害者施設・老人デイサービスセンターの職員さんから施設の概要やボランティアさんに気をつけて欲しい事などについてのお話を聞きました。

また、7月から8月にかけて市内の福祉施設へボランティア体験に参加されました。受講者からは「ボランティア活動は初めてだったけど、スクールでの体験が施設での活動に役立ちました」と感想をいただきました。



ゲームを使ってボランティア学習中



階段でのアイマスク体験



ボランティア体験学習・福祉教育研修会

～学校が変わる！地域が変わる！～

7月28日(木)、教育センターに協力いただき、ボランティア体験学習・福祉教育研修会を開催しました。午前中は今年採用された、新人教職員を対象に、ボランティア体験学習の実践についての講話の後、実際に車イスやアイマスクをしてバスや電車に乗ったり、手話や点字の体験を行いました。午後からは、公開講座として、教育関係者、ボランティア、校区福祉委員会、施設職員など関心のある市民73名の参加がありました。大阪教育大学教育学部助教授の新崎 国広先生より「ボランティア体験学習・福祉教育で誰が、何を学ぶのか？」をテーマにご講演いただいた後、「ボランティア体験学習・福祉教育で学校が変わる！地域が変わる！」をテーマにシンポジウムを行いました。

「いろいろな立場からの話が聞けてよかった。地域の方がこんなにもさまざまな取り組みをされていることを初めて知った。(教育関係者)」、「新崎先生の、教師が福祉の専門家にならなくていい、地域にいる専門家と一緒に取り組めばよいという言葉に勇気をもらった。(教育関係者)」、「現在の活動、ボランティアについて再度考えさせられた。(ボランティア)」、「色々なボランティアグループが学校と関わり、

ボランティア体験プログラム

毎年7月～8月にかけて、大阪府ボランティア・市民活動センターと大阪府内の市町村社会福祉協議会との共催で実施しています。活動先は大阪府内の福祉施設やボランティアグループなど全533プログラム。豊中市内では53施設が参加され、114名が活動されました。

～参加者からの感想～

「おひさま保育園」(児童施設) 篠木 遥さん

私は2日間おひさま保育園でボランティア体験をさせていただきました。2日間、朝9時から夕方5時まで子どもたちと一緒に生活して、とても充実した時間が過ごせました。保育士の仕事というのは子どもと関わることだけではなく、子どもの様子を親に伝えたり、子どもを預けている親との関係づくりや子どもが快適に生活できるような環境を整えることなども大切な仕事だということを知りました。

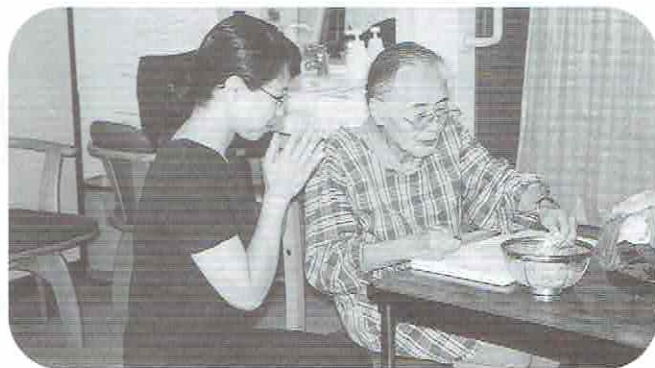
この2日間は私にとってはとてもいい思い出になりました。保育士の仕事や子どもの事もたくさん学んだので、これからの学校での総合の学習や将来のことに役立てていきたいです。本当にいい経験になりました。

「シルバーデイハウスあさひ」
(高齢者施設) 太田 光子さん

65歳を過ぎても積極的に新しいことを学び、楽しんでおられる様子を見ているだけで、こちらの方が励まされました。また、人生の先輩達にいろいろなお話を伺うことも楽しみでした。利用者の方々だけでなく、ボランティアも共に楽しめる場所があるのは素晴らしいことだと思いました。また、楽しむ事だけでなく悩みや不安(病気、家族関係等)を相談でき、それらを解消する為にも、このような場は必要であると感じました。



緑地地区福祉委員会の子育てサロン



ビー・ジーみなみでの体験の様子

指導方法など試行錯誤していることを知った。(ボランティア)」、「体験学習を難しく考えすぎていた。体験を通じて少しでも「気づき」を感じてもらえればよいと思った。(施設職員)」、「ボランティアにこられる方の気持ちへの配慮など受入れ態勢の不十分さに気づいた。閉鎖的でなく地域に根ざした施設を作っていける気がしてきた。(施設職員)」といった感想が寄せられました。



みなさん新崎先生の講演を真剣に聞いています

定年後のボランティア相談

『定年後のボランティア相談会に思う』

「Vネットとよなか」

運営委員 山元 弘久さん

平成15年2月から60歳前後の方を対象にボランティア相談会が始まりました。相談委員には、「Vネットとよなか」の運営委員メンバー4人が担当することになりました。私もメンバーの一員として毎月第一金曜日、「ぶらっと」において相談会に参加しております。発足当初は相談者は少なく、その後徐々に豊中市の広報誌等でPRされ相談者も多くなりました。相談に来られる方は、60歳前後で主婦の方が多いのですが、定年後の男性の方も増えてきました。やはり相談の多くは、子供が独立して時間の余裕が出来た、あるいは定年後の社会参加、自分の経験を役立てたいのでどんな活動が出来るかなど熱心な相談を受けております。これからは団塊世代の定年退職とあいまって、この相談会の必要性がますます高まるのではと期待しております。

☺お知らせ☺

長年の間、市民のみなさまにご協力いただいております使用済みプリペイドカードの回収は、12月28日をもちまして終了いたします。

ご協力ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました！

台風14号災害と米国ハリケーン(カトリーナ)災害における募金

台風14号災害と米国ハリケーン(カトリーナ)災害における義援金として、募金箱を、9月15日～9月30日の間、福祉会館・ボランティア活動推進センターぶらっと・福祉の店「なかま」に設置しました。多くの皆様のご協力で、26,120円集まり、豊中地区募金会・豊中市赤十字奉仕団を通じて、宮崎県共同募金会・日本赤十字社に1/2ずつ配分しました。

温かいご支援・ご協力どうもありがとうございました。



今後の予定

★ 11月14日、15日、18日、22日、25日、30日：年賀状ボランティア

★ ボランティアはじめま専科

・11月25日：外出支援グループ

「みちしるべ」

・12月13日：ビデオ制作グループ

「ズームイン」

平成18年

★ 1月予定：ボランティア新年の集い

★ 2月5日：

第13回ボランティアフェスティバル

編集後記

今年の夏の話題はクールビズ。小泉首相をはじめ閣僚諸氏も率先垂範、すっかり板についてきました。柳の下にドジョウ？ファッション業界では今年の冬もウォームビズで一儲けを目論んでいるとか。小泉さん、やりますかねえ。

(アクセス K. N.)